

能登の里山里海を紡ぐ関係人口創出

志賀智寛・宮下祐真・多形恵美・佐々木諒太



能登町とは？



- 石川県・能登半島に位置する人口約1.5万人の町
- イカ・定置網などの漁業や田の神様に感謝する「あえのこと」の風習など、豊かな里山里海が残るのどかな街
- 日本遺産のキリコ祭りなど、伝統的なお祭りが盛ん
- 羽田空港からと里山空港まで60分（1日2往復）、空港から中心地（宇出津）まで車で25分のアクセス



*2024年3月1日現在は震災の影響で通3便の運行

ミッション

「のとをしる」から「のとにであう」へ

- 若者の流出による負の連鎖が続くという課題を抱える
- 数字的には無理ゲーだが、それをワクワクに変えたいという思いで、今年で7年目の活動
- 5期・6期の活動で、動画から入る観光促進ツール【NOTO_CHOICE】を作成
- 今年は東京の人が「のとにであう」イベントを開催することをメインミッションに活動

NOTO_CHOICEとは

- 全20種類の観光促進カード
- 体験したい動詞を選び、表面の観光地を訪問する



チームとしての目標

イベントやNOTO_CHOICEを通じて能登町の関係人口を増やし、能登の暮らしを受け継いでいきたい

現地活動

あばれ祭り (7/7-9)



公式の現地活動とは別にプライベートで能登町を訪問しました。過去の能登町 FS 参加者も集まって交流を行ったり、この時期に行われる能登町最大のお祭「あばれ祭り」に参加したりしました。能登町が誇る「里山」「里海」「祭り」の魅力を短期間で一気に体験することで、能登町に対するモチベーションを高める良い機会となりました。

現地活動① (8/31-9/2)



第一回の現地活動を行いました。「NOTO_CHOICE」で紹介されているスポットを巡るとともに、能登町内の店や施設を訪れ、能登町に住んでいる方々の温かさ、志の強さを感じることができました。この現地活動をもとに、その後の会議では11月のイベントで何を伝えるかを考えていきました。

現地活動② (10/27-29)



第二回の現地活動を行いました。イベントで何をやるかが定まってきたところで、イベントに必要なもの(写真や特産品等)を発掘していく機会となりました。また、現地の方々と交流も深まり、自分たちが能登町側になってイベントを企画していく気持ちが強くなった活動でした。

イベント「NOTO_CHOOSER」

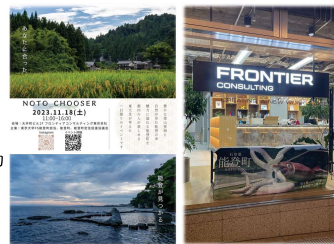
概要

- 2023/11/18 (土) 11:00-16:00 @ フロンティアコンサルティング(株)
- 東京在住の方に能登町をPRするイベント
- 能登町、能登町定住促進協議会と共同主催
- 過去のFS能登町生7名がスタッフとして協力
- 来場者：100人超

当日の様子

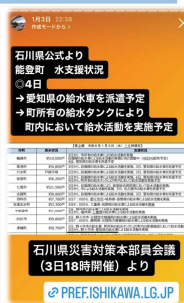


コンテンツ名	内容
のとをまなぶ	能登町の魅力についてプレゼン形式で簡単に説明する
のとをかじる	能登町のPR動画を流す
のとをぞく	能登町の風景を撮った写真を展示する
のとをさがす	能登町の観光地を記した地図を展示する
のとをあじわう	能登町の特産品を試食・試飲してもらう
のたとつながる	能登町に住んでいる人と中継を繋ぐ
のたとあそぶ	能登町で生まれたゲーム「ごいた」を体験してもらう
のたとふりかえる	「あなたに合った能登」を書いてもらう



2024/01/01 能登半島地震の発生

支援チームの活動



概要

- 7年間で28名が能登町で活動、そのOBOGを含めた有志で結成
- 能登町にいただいたものを恩返ししていく
- 様々な支援活動を通して、これまでの関係性を未来に繋げる

活動内容

- 義援金の呼びかけ・ポスターの掲示・学内広報
- ストーリーズで避難者の方に向けた情報発信
- 地域連携シンポジウムでの発表 (2/5)
- 現地活動の3回目を実施 (2/24-27)、現地の「いま」を視察

今後の活動

能登町・大学と連携して、さらに活動を進めていきます

基金設立	東大基金の仕組みを利用して、支援をしています。寄付金は今後のボランティア活動の費用等に充てさせていただきます。
体験活動プログラム	復興のために力になりたいという学生を巻き込む準備を進めています。
中高生支援	東大生の強みを活かす支援として、中高生への支援について現地の方と協議をしています。
復興支援イベント	町の支援となるようなイベント@東京や、FS8期で予定されていた「NOTO_CHOOSER」第二弾などを企画します。



活動を通して学んだこと・感じたこと

イベント

- 学生がイベントを企画する影響力と難しさ
- 効果検証が不十分。何が伝えられたのか？
- 参加者と現地との関わりしるが限定的？
- 関係人口をどのように作っていくか
- ターゲットの絞り込み、訪問障壁の把握が必要
- 来年度にも繋がる引き継ぎ

支援チーム

- お世話になったからこそ、東京で自分たちにできることの実践：後方支援
- 風化させないためにできること：能登町の関係人口を増やし、現地に訪問してもらう
- 能登の【創造的復興】に向けての合意形成の重要性
- 今後の防災・発災後の対応にどのように活かしていくか

能登町と出会って

ふるさとを感じる里山！豊かな里海！
熱い祭り！優しさを溢れる町の方々！
そして、町の大切な人やOBOGとの繋がり。
また行きます！ありがとうございました！

